

現場必勝セミナー

第23回

株式会社 フォンシュレーダージャパン 代表取締役社長

岡本 英男

「成功する責任者」

はじめに

前回の責任者論の中で、責任者の心得について書いてみました

が、今回は2011年に亡くなられた宮尾す

すむさんの話を参考に

に、いくつか例を挙げながら責任者の心得について説明してみたいと思います。

宮尾すむさんといえば、コメディアン、俳優、レポーターなどで有名な方でしたが、現在では知る人も少ないかもしれません。

話はかなり前のことになりましたが、テレビのワイドショーに「宮尾すむのああ日本の社長」という人気コーナーがありました。日本各地を巡って成功している社長さんのお宅を訪問し、話を伺うというものでした。

宮尾さんはその時の経験をもちに「成功の秘訣」という講演会もされてきました。ここでは番組で紹介された社長さんと共通する点についてお伝えしたい

と思います。

責任者は謙虚であれ

日本中の成功している社長さんの自宅を訪問し突撃取材した宮尾

さんが、第一に挙げた感想が「成功している社長さんは皆さん謙虚だった」ということです。自宅に大きな神棚

や仏壇があるようなお宅も多く、基本的に信心深い方が多かったのですが、それ以上に感じたことは、皆さん本心に謙虚だったという

ことだそうです。「私がかこまで来られたのは周りの皆さんのおかげです」「先祖さまのおかげです」「神仏のおかげです」「あの方との出会いがあったからこそです」といったことを話す方が多く、まさに「実るほど頭の下がる稲穂かな」ということわざ通りだったそ

うで、「俺が、俺が」という傲慢な人は意外なくらい少なかったようです。

翻って、現場の責任者も謙虚であるべきだと思います。責任者一人

の力で現場が動いているわけではなく、さまざまな方の協力があったり成り立っているもの

だからです。責任者が傲慢不遜な態度で命令を出せばいったんは従うかもしれませんが、心から従うことはなく、いずれ心が離れていってしまいます。

そのことをよくわきまえ、スタッフや仕事を依頼してくれる方、エンドユーザーのお客様など、関係各位に対して感謝の念を持ち、謙虚に協力を仰ぎ、理解してもらおう姿勢が必要ではないでしょうか。

女房役を大切に

宮尾さんが二つ目に挙げたのが、成功している社長さんには立派な奥さんがついているという事です。夫婦というものはいつも一

緒にいるわけですからごまかしがきまません。どんなに隠そうとしても奥さんにはすぐに見透かされてしまいます。

家庭内で奥さんから三下り半を突き付けられるようでは、社会で通用するわけがありません。奥さんに対して真摯な態度で向き合

い、尊敬されるようなご主人でなければ、世間で受け入れられないのが道理ではないでしょうか。

社長に至らない点があったとしても、奥さんがそれを補う関係であれば、周りも「あの奥さんがいれば安心」という環境が整って

いくのではないのでしょうか。

現場の責任者においても、女房役として補佐してくれる人が重要

だと思えます。当然のことながら、人間ですから長所もあれば短所もありま。そうしたことを踏まえた上で、支えてくれる女房役を育て、信頼関係を構築していく努力が必要です。

そして、施工に対する責任者の考えに、施工方法や手順だけでなく、責任者の思いや気持ちまでも汲み取ってくれ、スタッフにそれをわかりやすく伝達してくれる女房役がいれば、その現場の施工がどんなにスムーズでま

まいくかが目に浮かぶようです。

3人の部下を持つべし

宮尾さんが指摘した第3のポイントは「3人の部下を持つべし」ということです。3人の部下の例を挙げると、古今東西多々あります。

中国の古典小説「西遊記」には、三蔵法師のもとに孫悟空、沙悟浄、猪八戒という力強い部下がいましたし、日本のおとぎ話「桃太郎」には犬、猿、キジ

が名実ともに社長の女房役となってくることが一番理想的かもしれない場合も、役職にある人に女房役となってもらうことで、社内人間関係を円滑にすることが望ましいですが、信頼関係の構築が大切であることは言うまでもありません。

犬、猿、キジについては、それぞれ深い意味があると語られています。まず犬は愛情の象徴です。主人が帰宅すると真っ先に迎えてくれ、どんなに会社で大変なことがあっても、そんなことに関係なく一途に主人を支えてくれる存在です。情で支えてくれる部下は、何よりもありがたいものです。

続いて猿は知恵の象徴で、参謀役を意味します。中国古典の「三国志」でも、劉備玄德を支える軍師、諸葛孔明が参謀役として非力な軍隊を率いて大勝利を収めています。

そしてキジは意欲の象徴です。キジは一直線に飛んでいきます。そこには迷いも悩みもなく、ひたすら前進します。このタイプの人

はバイタリティーに溢れ、ものすごい営業成績を出してきたりします。

これら3つのタイプの部下に支えられた責任者はどれほど心強いことでしょうか。また、3人の部下は物体の3点支持の考え方につながります。物体は3点が支持されることで初めて安定します。組織論で言えば、この3人の部下にそれぞれまた3人の部下をつけ、さらにその先にも3人の部下をつけることで、組織は限りなく発展していくという考え方もあるようです。

仮に「残念ながら自分には1人しか部下がない」という方は、まずはその部下のタイプが愛情なのか、知恵なのか、意欲なのかを見極め、最高の部下に育て上げることです。そして、足らない2人は自分の中に分身をつくり、頑張っていくことで2人目、3人目の部下が育ってくるのではないのでしょうか。

現場における成功する責任者について、宮尾すむさんの話を参考に、大切と思われる点を補足して説明してまいりました。これらめいていくための内容としては、ほんの一部のことかもしれませんが、何かの時の参考にしたいだけのことです。

まとめ

【岡本英男氏経歴】

- 岡山県岡山市出身
- 中央大学理工学部卒業
- (公社)全国ハウスクリーニング協会理事
- 建築物環境衛生管理技術者



現場における成功する責任者について、宮尾すむさんの話を参考に、大切と思われる点を補足して説明してまいりました。これらめいていくための内容としては、ほんの一部のことかもしれませんが、何かの時の参考にしたいだけのことです。